

令和2年度(令和元年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 31-003
 担当 竹内
 内線等 26-4888

PDCA	事務事業名	新美南吉童話賞事業	部課等名	教育部 博物館 新美南吉 記念館			
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第5章 育ち合い共生を進めるまち 節： 第2節 生涯学習の推進 基本施策： 3. 文化の継承と創造 単位施策： (3) 新美南吉の顕彰と南吉文学の普及 個別施策： ①企画展・童話賞事業					
	根拠法令等	—					
	対象・目的	創作童話を募集することによって、郷土出身の童話作家「新美南吉」の人と作品、及び南吉のふるさと半田への関心を深めてもらうとともに文学者を新たに発掘することを目的とする。					
	目的を達成するための手段・活動内容	自由創作部門（一般の部、中学生の部、小学生高学年の部・低学年の部）・新美南吉オマージュ部門に分けて、6月1日から9月15日の間で募集。第一次、第二次審査を経て、受賞作品を選考する。入選作は、作品集「赤いろうそく」に纏め、関係各所に配布するとともに、記念館にて販売（1冊500円）する。					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	29年度	30年度	元年度	単位	
		①作品集「赤いろうそく」の作成	950	950	950	冊	
		②童話募集ポスターの配布	700	676	678	枚	
		③					
		事業費	2,915	3,024	3,146	千円	
		人件費	5,227	2,657	4,903	千円	
		総事業費	8,142	5,681	8,049	千円	
	活動単位当たりのコスト	29年度	30年度	元年度	単位		
	①応募作品1編あたりの新美南吉童話賞事業コスト	4,548	2,918	5,156	円		
	②						
③							
成果	成果指標	29年度	30年度	元年度	単位		
	①新美南吉童話賞応募数	実績値	1,790	1,947	1,561	編	
		目標値	2,500	2,500	2,500		
	②	実績値					
		目標値					
	③	実績値					
目標値							
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性 妥当	④上位施策への貢献 大きい	⑦コスト削減余地 ない			
		②市民ニーズ 高い	⑤成果向上の余地 ある	※対象・手段の変更			
	③休廃止の影響 大きい	⑥類似事業の有無 ない	⑧受益者負担適正化余地 ない				
事業の評価・課題	B 入選作品集『赤いろうそく』については、応募意欲の刺激を意図して、全掲載作品に挿絵をつけ、紙質や表紙の仕様を向上させるなどの改善をした。また、半田市出身在住の児童文学作家が最終審査員に加わったことで、より半田市らしさをアピールできるようになった。応募作品の質についても、最終審査員より、一般の部の質が向上しているとの意見があり、全国区の児童文学創作コンクールとしての地位確立に向け、前進した。しかし、応募総数が減少したことと第一次審査員に辞退者が多く、今後の確保が課題である。						
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進 多くの人の目に留まり、応募したいという意欲を高めるため、募集要項の表記の改善やデザインの更新をする。応募者のニーズを分析することにより、応募者を増やすための効果的なPRの方法を考え、実践していく。応募数を増やすと同時に、応募作品の質の更なる向上を図り、魅力の保持に努める。また、応募のきっかけ作りや来館促進策として、新美南吉記念館に応募作品を直接持参した人への参加賞進呈を継続する。					
	令和2年度の目標	成果指標			目標値	単位	
		①新美南吉童話賞応募数			2,000	編	